

時事新報

孰れか腐敗に逆らふや
去る一月廿六日米國紐約府發覺のヘーバースウ...

大統領改選の結果として新政府を組織したるが爲め
顯要の地位を占むるに至りたる者の中には僅一地方
に尊嚴を受け將た勢力を有する位に過ぎざる者少
なからざればも取分け費拉府のワシントン...



Postmaster General, John Wanamaker

かある煉化製造場を所有せしが
幼少の頃より毎朝五百の煉化を
焼いて僅に二銀の報酬を受け業
終りて後學校へ往くを常とせり
稍や長して書翰店の丁稚となり
一週一弗二十五銀の給料にて朝
夕暮々四哩づつを奔走するが職
務なりしに此地元來功名の機會
乏しかりしより氏は斷然袖を
拂て両親及び四兄弟を別を告
げ費拉府へ赴きてワシントンホ
ールと聞えたる裁縫店の番頭となり
次て一年一千弗の給料にて青年
基督教會の書記とあり千八百
六十一年同志と共に組合を組織
し又其の助けによりてシキス
ス街とマーケット街との間に裁縫業を始めたりしが
之れは是れ氏が榮枯浮沈の分目なりしを勤勞空し
からず數年よして漸く事業の基礎を定むるを得たり氏
の此業に従ふや鋭敏も斬新奇抜の廣告をなして以
て其名を世に知られ飽まで之れを怠らざりし商利
の過半は廣告の利用による云ふも不可あらざる程あり
き千八百七十六年の冬、當りエバンゲリスティ...

今度選出の總監督となり新内閣を列するを得たるは實に大
統領改選の際大金を費してハリソン氏の當選を助け
るが爲めに即ち金によりて購ひ得たるものなれば
到底政務の處理に堪ふべくもあらず新内閣は早く已に
腐敗せるものありとて暗く之を嘲笑するの寓意は言外
に見る可し事實果して然るや否や假に其説に従ふと
は我輩は米國新政府が團員其人を得ざりしを惜むの情
なき能はざれども又退いて一考するときは我國の現狀
に於て聊か赤面を催はすものあり願ふに我國とても維
新以前封建の時代にありては士族は世祿に衣食して生
計上には更に顧慮する所なかりしが故に其官途に仕進
する者は由りて以て家計を豊かきと欲するに非
ず唯平生の才量と其志を當世に行ふて功名を後
遺さんるを期するに外ならざれば苟も兼志を遺する
能はざるに於ては今日出身して明日の地位を棄るも
惜む色なく出處退都て淡泊公正にして卓然たる節操
は吾人の竊に景慕に堪へざる所なりし一朝封建の制
度を廢して文明の政府を打立てたる以來士風いつまか
一變し去りて官途仕進の趣も亦昔日の潔白を留りず
利祿を先にして志を後にするもの、如くなれば一たび
得たる地位は及ぶ限りの力を盡して之を守護し世上の

勤むる者ありと云ふ、氏は日々午前七時三十分より
午後六時三十分まで店を坐すれども猶ほ其上に氏が
凡る三十年以前トウエルブス街とペインブリッジ街
の角に設立したるベサニー日曜學校の事務を監督す
る由にて同校は目下二千五百人の生徒を養ひ國中の
寺院學校、青年文學會その他種々の慈善及救道會と
は概ね氣脈を通するものなり斯て氏は萬事を抛ちて
救道に従事するにあらざりても青年基督教會及び他
の慈善すべき目的の爲めには數千金を投じて曾て少
も惜む色なし、居常の行を見れば恰もピエリ
ン(清教)信者に似たるものにして酒煙草は一切用ひ
ず芝居も往かず競馬その他の勝負事をも見ずして
唯樂とする所は彼の日曜學校の管理ありとぞ居
宅はワシントン街に町住居の家ありワシントン
オン田舎住居ありケイアポイントに海濱の別
荘あるのみ蓋し質素を旨とするものにして二年前畫
工マンカスシーの筆で成りたる基督が海賊に差向ひ
の繪を大金にて購ひたるは少しく世上の注意を惹き
たるものなりき
扱右の文中は明記せざれども氏は唯の金満家として

物斷不外爾は容易に之を開き就して復た深く己れに省
みるを須ひず恰も世は次第に澆季に赴くに似たりと雖
も能く其原因の所在を探るときは皆是れ其生計と内顧
の憂あるが爲めにして素志云々の如きは非とも生活
の次を置かざるを得ざるが故ならん左に無産無職の
官吏が唯在官中の俸給に依賴するは我輩の夙に甚だ恨
ばざる所なれども社會の公僕とも稱すべき屬吏小官の
輩に至ては亦是れ人物相應の職業あれば俸給に依賴し
て衣食するも固より咎む可きとあらざり唯もれより以
上の政務に當る上等官が公の俸給と私の生計と離る可ら
ざるの關係を考して自ら其出處退の自由を妨ぐる可
ありては當人の爲めに遺憾なるのみか又我政治上の迷
惑も計る可らず今米國のワシントンヘーバースウが金の功によ
りて内閣顯要の地位に立ちたるは其形跡面白からずし
て政務上にも不得策あるが如しと雖も氏の一身の事情
によりて考ふるときは家産既多にして福利に飽き今
や漸く歩を進めて名譽を博せんと欲する者にして云は
い生計以外の餘業なり其不潔は彼我どもに日を同
して爾る可らず我輩は氏が立身の次第を開き其表面の
忌はしきを憚りて同時に裏面に於て自ら大に尊重すべ
き所あるを察し我國にても先づ敢て高等政務官を
無給の榮譽官と爲して名利混合の弊を拂はんと希望
するものあり

廣 告
改良火葬場開業廣告
本會社建築路本落成候ニ付本月廿五日ヲ以テ開業ノ運
ヒニ依リ此段ニ株主諸君ニ廣告候也
神奈川縣下久良郡根岸村千五百七十二番地
明治廿二年 横濱有終會社事務所
本館移轉ニ付本月十五日ヨリ向凡ソ一箇月半閉館
四月十二日 大日本教育會書籍館
本會社式總務本月廿八日午前十時大坂京町堀五丁目
本社出張所ニ於テ開會ス右株主諸君ニ廣告ス
明治廿二年四月 讚岐鐵道會社

明治廿二年三月十六日付 振出元 掛川銀行
第八十七號 任拂先 同行東京支店
送金手形一葉 依頼人 田邊 治三郎
右手形紛失ノ旨届出候間今無効トス 萬助
四月十日 掛川銀行東京支店
紀尾井町 麹町英學校生徒募集
三番地 夜學科、數學科、獨逸科、
各級へ四月中ハ無東條入學手續ス
煙草販賣廣告
弊舖從來小網町仲一番地ニ於テ營業罷在候處諸君
御愛顧ノ地ニ移轉シ一層盛大ニ營業仕候間二倍
爲便宜左ノ地ニ移轉シ一層盛大ニ營業仕候間二倍
何卒御引立御用向之程伏テ奉願候也
日本橋區新本町川岸通十九番地樂屋新道角
明治廿二年 柳岡清平
開來 四月十五日十六日三日間
特別安賣出シ鹿景呈進仕候
星亨君野澤雅一君送別會
二君ノ歐米行ヲ送ル爲メ來十五日午後三時ヨリ淺草
須賀町同遊館ニ於テ送別會相催候間御來會ノ諸君ハ前
日迄ニ同館宛御一報可被下候會費金六十圓也
板倉 中 井上角五郎 花香次郎 畑下 熊野
大井憲太郎 好江 祐次 奥村三郎 國岡 三郎
瀧邊小太郎 中嶋又五郎 武藤直次郎 山田 愛三郎
内藤 善太郎 矢部忠右衛門 松尾清次郎 山本 泰造
山川 善太郎 矢部忠右衛門 松尾清次郎 山本 泰造
宮地 茂春 廣田 興造 仁杉 天野 政立 澤田 清之助
昌司

行發日五十月四號一第
山田自
却賣莊別
熱
豆州熱
四月
四月十三日
四月十三日
四月十三日
四月十三日

四月十六日
四月十八日
四月廿五日
四月廿六日
四月廿七日
四月廿八日
四月廿九日
四月三十日
五月一日
五月二日
五月三日
五月四日
五月五日
五月六日
五月七日
五月八日
五月九日
五月十日
五月十一日
五月十二日
五月十三日
五月十四日
五月十五日
五月十六日
五月十七日
五月十八日
五月十九日
五月二十日
五月二十一日
五月二十二日
五月二十三日
五月二十四日
五月二十五日
五月二十六日
五月二十七日
五月二十八日
五月二十九日
五月三十日